

「④働き方の見直し」に関する「今後の取組の検討結果」

1. 課題

(1) ニーズ調査結果により判明した課題

- ① 介護の経験者は 10%だが、今後 5 年以内に介護に直面する可能性のある社員は 80%と高い割合を占めている
- ② 介護について何らかの不安を抱えている社員は 100%である。不安を感じる要因としては、介護、介護制度、社内支援制度等についてわからないことによる漠然とした不安が多い
- ③ 現在の勤務先で介護をしながら仕事を続けることができるかという質問については、続けられない 46.2%、わからない 46.2%と高い割合を占めているが介護をするとなった場合の働き方については殆どの社員が制度を利用しながら仕事と介護を両立すると回答している
- ④ 介護保険制度について認知度が低い
- ⑤ 会社の介護についての支援制度の認知度が低い
- ⑥ 介護休業の利用方法について意見交換の必要がある
- ⑦ 恒常的に残業があると回答している社員が 85%と高い割合を占めていることから、働き方について意見聴取し検討する必要がある
- ⑧ 社内のコミュニケーションは概ね円滑であるが、介護について話したり、相談できる雰囲気には至っていない。改善の必要がある

(2) 相談内容から判明した課題

- ① 派遣社員については、派遣先と調整しながら制度の利用を推進する必要があり、個別対応が必要である。
- ② 介護制度及び公共の相談窓口について知らないことによる不安が大きい

2. 働き方の見直しに関する社内体制の構築

課題を踏まえて今後の方策を検討するために「介護支援検討委員会」を立ち上げた。

委員長 総務部員 1名

委員 業務部員 1名

3. 介護支援検討委員会開催

(1) 第1回

開催日：平成27年10月30日（金）14：00～17：00

出席者：委員長及び委員 2名

検討内容；

- (ア) 課題の抽出及び社内問題点の確認
- (イ) 仕事と介護を両立できる職場環境とは
- (ウ) 社内介護支援制度の検討
- (エ) 公的支援制度について

(2) 第2回

開催日：平成27年11月13日（金）14：00～17：00

出席者：委員長及び委員 2名

検討内容：

- (ア) 取組計画の策定
- (イ) 介護支援情報提供の方法検討
- (ウ) 残課題の抽出

4. 取組計画

【目標1】社内研修会の開催

28年度に初回研修を開催し、社内支援制度が変わった時等、情報提供の必要時に継続的に開催していく。

研修会名	介護フォローアップ研修
開催予定日	平成28年度
対象者	全従業員
研修内容	<ul style="list-style-type: none">・公的介護制度について・社内制度について・介護休業について・介護体験談・介護についての意見交換会・介護相談窓口の利用推進
研修目的	<ul style="list-style-type: none">・介護制度等について知らないことによる不安を軽減する・介護に直面しても離職をせずにすむよう会社が支援する旨の周知・社内で介護のことを話せたり、相談したりできる雰囲気を作る

【目標 2】社員への継続的な情報提供（長期継続計画）

一同に会する研修を頻繁に開催することは難しいため、リーフレット等を作成し、情報提供を継続的に行う。

【目標 3】相談窓口の利用推進（長期継続計画）

介護について、些細なことでも相談できる窓口であり、気軽に相談するよう啓発を継続していく。

【目標 4】仕事と介護の両立のための支援制度の検討

平成 28 年度～平成 30 年度・・・在宅勤務等、多様な働き方について検討し自社にあった働き方を改革していく。

【目標 5】介護に直面している社員への支援（長期継続計画）

介護に直面している社員に対して、相談窓口による精神的支援及び仕事と介護を両立するためにその時の状況にあった対応を検討し、離職をせずに介護できるよう支援する。